

加古川市立中央図書館だより

(発行) 加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



ぶっくガーデン

NO.272 - 2025年7月 (URL) <https://www.lcs-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

海いろいろな意味で広大です!! - さまざまな視点で海に関する本を集めました -

今月は梅雨が明けて夏本番を迎えます。日本は四方を海に囲まれた島国ですが、案外海と接触する機会がないのでは…と思います。今月はたくさんの海に関する本の中からさまざまな視点で集めてみました。この夏に海に出かけたり、考えてみる参考になれば幸いです。

- ・「**ヴァジュアル版海から見た世界史**」 シル・P. 竹丸 原書房 209-ク
副題に「海洋国家の地政学」とあるように世界各国の「海上帝国」延べ23か国を取り上げ、海との関りを持った国と時代について解説しています。「海を制する者は世界を制する」とよく言われますが、現在でも海をめぐる国家間のニュースが日々報道されています。
- ・「**海辺の民俗学**」 石井 忠 新潮社 380.4-イ
海辺に漂流物が寄せられている光景はよく目にしますが、そんな漂流物を通してそのルーツや人々の生活や文化を追跡した「漂流物学」とでもいえる本です。島崎藤村の詩「椰子の実」が想起されます。
- ・「**海のなんでも小事典**」 道田 豊ほか 講談社 452-ウ
海は地球表面の71%を占める広大な領域ですが、そんな海の海流、潮汐、海底、海図、地形など海に関するいろいろなことをわかりやすくまとめた本です。海について手短かに知識を得たいと思っている方にはおすすめの1冊です。
- ・「**海の本**」 吉野 雄輔 角川書店 452-エ
著者は海を散歩する海洋カメラマンです。その著者がとらえた写真を中心に海の様々な顔に触れることができます。写真を見ながら楽しむことができる本です。
- ・「**世界でいちばん素敵な海の教室**」 藤岡 換太郎/監修 三才ブックス 452-セ
生命の源である海についての様々な疑問や質問に対して、美しい写真を添えてシンプルかつわかりやすく解説しています。楽しみながら海についての知識が得られます。
- ・「**渚の思想**」 谷川 健一 晶文社 380.4-タ
陸と海の接点でもある「渚」に視点を据えて、民俗学的な考察を行っています。著者によると、「渚」は現世と来世(常世)の境界であるとのこと。
- ・「**海-日本の名随筆56**」 辻 邦夫/編 作品社 914.6-ニ
文化人、著名人、作家の「海」をテーマにしたエッセイ34編を収録しています。各編から作者の様々な思いが伝わってきます。
- ・「**海の名前**」 中村 庸夫 東京書籍 452-ト
海の語源や神話、七つの海、波、海上気象、そして地形や潮流など、海にまつわる言葉の数々を集めて写真とともに解説しています。こういう本に接するとあらためて日本語の語彙の豊かさを感じます。
- ・「**海の文学志**」 尾崎 秀樹 白水社 910.2-オ
文学作品に現われた「海」をテーマに、歴史やさまざまな文学作品を鑑賞しています。鑑真、空海、元寇を取りあげているかと思うと吉川英治の「私本太平記」や遠藤周作の「沈黙」があったり、また司馬遼太郎の「菜の花の沖」や井上靖の「おろしや国酔夢譚」であったり…。いろんな時代や作品をテーマにした「海」に関する文学論といえるかもしれません。
- ・「**瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック**」 恒星社厚生閣 468.8-セ
干潟でみつけることができる海藻、貝類、甲殻類、魚類、植物、鳥類などについてやさしく解説しています。瀬戸内圏なので身近な磯遊びなどに役立つのではないのでしょうか。

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日: 午前10時～午後8時 日・祝休日: 午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【7月の休館日】 14日(月)、28日(月) 【8月の休館日】 12日(火)、25日(月)

** 図書館からのお知らせ **

●行事のご案内(児童関係)

(1)図書館 | 日体験隊

【日時】 7月27日(日) 午後0時50分～4時30分

【内容】 本の貸出・返却、整理などを体験

【対象】 市内在住の小学4年生～中学生で過去に参加経験がない人

【定員】 9人(先着順)

【参加料】 無料

【場所】 中央図書館

【申込】 7月6日(日) 10時から中央図書館の窓口、または電話(079-425-5200)にて受付



(2)図書館見学ツアー

【日時】 7月27日(日) 午前10時～11時

【内容】 図書館のしくみについて知り、書庫などの館内を見学

【対象】 市内在住の小学1年生～3年生と保護者

【定員】 8組(先着順) ※1組3名まで

【参加料】 無料

【場所】 中央図書館

【申込】 7月8日(火) 10時から中央図書館の窓口、電話(079-425-5200)にて受付

●図書館についてのはなし

・「英語多読について」

英語多読は精読ではなく数多く読むことで英語力を伸ばすことです。英語多読の三原則は、①「辞書は引かない」 ②「分からないところは飛ばして読む」 ③「自分に合わないと思ったらやめて次の本に移る」です。従来のような単語や文法を考えて、日本語訳して読むものではなく、絵本のような簡単な本から始め、楽しみながら読み進めるうちに英語を英語のまま理解できるようになる読書法です。

英語多読用の本には単語の数などによってランクが分かれていますので、自分に合ったレベルから読むことができます。

近年、英語多読サービスを行う図書館が増えてきていますが、中央図書館にも多読資料を置いています。冊数はまだまだ多くはありませんが、今後も少しずつ増やす予定にしています。

・「デジタル資料と従来の紙資料」

文字活字のデジタル化の進展が加速しています。人類は長い年月にわたり、主に紙に書かれた文字文化の中で情報を取得し、生きてきたことに比べるとデジタル資料の出現は20年ほどです。

デジタル資料は情報機器やインターネットを介して利用することでいつでもどこでも環境が整っていれば利用でき(図書館の場合であれば非来館)たり、紙の本のようにページを繰らなくても必要な箇所を即座に表示させるなど様々な利点がありますが、一方でじっくりと読んで考える力をつけるには紙の本が有効で、例えば、外国の教育現場では、教科書のデジタル化の見直しと紙の教科書への回帰の動きが起っています。

このような中で、図書館として扱う資料についても片方に偏向するのではなく、それぞれの利点を考えながら収集提供していくことが必要ではないかと考えさせられる最近の状況です。

行事のお知らせ(児童)

●親子えほんの会(毎月第1金曜日)

【日時】 7月4日(金)

① 10:30～10:45

② 11:00～11:20

【対象】 ① 0歳の子どもと保護者

② 1歳から3歳までの子どもと保護者

【定員】 各15組(先着順)

●えほんのじかん(毎月第2・4土曜日)

【日時】 7月12日、26日(土)

14:00～14:30

【対象】 3歳以上の子ども

【定員】 30人(先着順)

●おはなし会(毎月第1・3・5土曜日)

【日時】 7月5日、19日(土)

14:00～14:30

【対象】 4歳以上の子ども

【定員】 30人(先着順)



◎場所は、すべて「おはなしのへや」です。